

【オープンキャンパスイベントリポート】

こんにちは、学生留学アドバイザーです。

8月6日（土）、7日（日）に早稲田大学のオープンキャンパスが開催され、私たち学生留学アドバイザーも高校生に早稲田大学や留学の魅力を伝えるべく参加しました。“留学体験談プレゼンテーション”“パネルディスカッション”“個別相談ブース”の3点を開催しました。2日間合わせて1600名の方が来場していただき、大盛況のイベントとなりました。

学生留学アドバイザーはイベントの企画運営や留学情報誌の発行など、主に早稲田生を対象とした様々な活動を行っていますが、今回のオープンキャンパスの対象は高校生。いつもとは違う対象にまで留学の魅力を伝えられるということをありがたく感じる一方、高校生が求める情報とは何か、高校生の心を打つような伝え方とはどんなものか、そうしたところから考え始める作業は決して簡単なものではなく、試行錯誤を重ねたのも事実です。少しでも良いものにしたいという想いから、メンバー同士でフィードバックをしい原稿やスライドを何度も修正するなど、綿密な準備を進めてきました。



留学アドバイザーオープンキャンパス運営メンバー



留学体験談プレゼンテーション

“留学体験談プレゼンテーション”は10分という限られた時間であったため、早稲田の魅力や留学先での生活、英語の勉強法など幅広いお話をすることで密度の濃いものになるよう心がけました。ジョークを交えながらのフランクな雰囲気の中で臨んだ結果、会場と一体感を持ちながらのプレゼンテーションができたのではないかと考えております。

“パネルディスカッション”では学部や留学先の異なる4人のやり取りを通して、勉強・クラブ活動・旅行・価値観の変化など、様々な切り口から留学の魅力を伝えました。イメ

ージをより効果的に深めてもらうために写真を多く使用する、話に引き込むために司会者やパネリスト同士での掛け合いを意識するなど、工夫を凝らしました。私もパネリストの一人としてお話をさせていただきましたが、自身の留學生活の振り返りや、他のアドバイザーメンバーと互いの留學経験の共有ができる良い機会となりました。例えば“留學を通して得たもの”と一口に言っても回答はそれぞれ人によって異なるものであり、留學が数え切れないほどの良い影響をもたらしてくれるのだということを改めて実感しました。来場者の皆様からは「留學に行きたくなった」「留學というものをより身近に感じた」「勉強へのやる気が高まった」といった嬉しいコメントを多数いただき、私たちの今回の取り組みが少なからず意義のあるものだったのではないかと自負しております。



パネルディスカッション



個別相談ブース

また、終日設けていた“個別相談ブース”にて、高校生や保護者の皆様の留學や受験勉強、大学生活などに関しての不安や悩みを解消するお手伝いをさせていただきました。「留學先でこういうことをしたい」「この時期にこの場所に留學したい」と具体的に考えている方も多く見られ、昨今の留學への関心の高まりを身に染みて感じました。

熱心にメモを取ったり積極的に質問をしたりする高校生の皆さんの姿を見て、私も頑張らなくてはと身の引き締まる思いでした。本イベントが1人でも多くの方にとって、早稲田や海外留學を志すきっかけになっていれば幸いです。

最後になりましたが、ご来場くださった高校生並びに保護者の皆様、そしてこのような貴重な機会をくださり準備を共に進めてくださった留學センターの職員の方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

早稲田大学学生留學アドバイザー
文化構想学部4年 大木このみ